

平成22年度 エネルギー科学研究科 公開講座

21世紀のエネルギー科学 —核融合とセラミックスのお話—

1. 第4の物質状態・プラズマの世界と核融合エネルギー

教授 岸本 泰明

核融合エネルギーは、50億年に渡って輝いている太陽のエネルギー源であり、様々なエネルギーの中で最も「宇宙」になじみが深いものです。地球に生命をもたらしたエネルギーは、宇宙に遍在するプラズマという物質状態の中で、「融合」という「和」の過程を通してもたらされました。私たちは、これを地上で実現し、次世代の恒久的なエネルギー源にする壮大なプロジェクトに挑んでいます。

2. 古くて新しいやきもの—セラミックスの世界

教授 星出 敏彦

天然の素材を焼いて作られる土器、陶磁器は古くからあり、我々の生活に広く使われています。一方、同じやきものでも、ファインセラミックスは人工の素材を焼いて作られ、エネルギー分野も含め、さらに広い用途が期待されています。このようなセラミックスの系譜を辿りつつ、新しいやきものであるセラミックスの可能性について紹介します。

日時：11月6日（土） 13：00～16：00
(15：30から30分間程度、講師を囲む意見交換会を予定)

場所：京都大学工学部2号館201講義室

- 定員：100名（先着順に受付け、定員になり次第、締め切ります）
- 受講料：無料
- 自家用車でのご来場は、ご遠慮ください。

(お問い合わせ先)
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学エネルギー科学研究科学術・管理掛
TEL：075-753-4744
FAX：075-753-4745